

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 長 田 昭 夫

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

平成十二年度決算を承認 日医連執行委員会

日本医師連盟は平成十三年十二月十一日に執行委員会を開催し、当面の政府が掲げる医療制度改革構想に対する懸念と財務省主導の医療財政収支だけの構想には強い姿勢で臨むことを確認した。また、平成十二年度の収支決算を審議し、賛成多数で承認した。鳥取県医連からは、長田、西田正副委員長が出席した。

選挙年で 活動費増加

平成十二年度日本医師連盟の収支決算案は酒井会計責任者から提案されたが、国政選挙として衆議院総選挙が十二年六月に施行されたことと参議院選挙の前年に当たることから特別会費の賦課などにより収入、支出が拡大した。

円、特別会費は十二年納入分が二億一、二五四万余円、繰越金一億三七二四万円等である。

支出については人件費、事務所費等の経常経費では公益法人の日医から政治連盟へ便宜供与規制により、事務所費等が増加した。政治活動費では、選挙年で各政党関係のパーティ、会議等の組織活動費が伸び二億二千万余円となった。寄付交付金は各都道府県医連へ四億八九〇万円の交付、政治団体及び衆議院選

挙への寄附は九億六千万円（重点組織内候補分含む）となった。この結果、収支差は四億二、四九万円となった。

十四年度負担基準 二万円に決定

平成十四年度日本医師連盟負担金の負担基準額については、会員数の年額二万円とするよう提案された。

これについて、京都府、大阪府等から年額については了承するが、納入人員を各府県の実納入者数に改正できないか。との質疑意見があった、これに対し、日医連の石川副委員長は、「医療制度改革大綱などのように政治決着を図ることもあり政治活動が更に必要である。それを支える負担金については従来どおり二万円でいきたい。日医連はA 会員で構成するとしている。（日歯連のように）

納入基準の 検討について

平成十四年度の基準額についての審議では、これまでの会費未納額について各都道府県医連が解消に努力しており、毎年度二千万円程度が納入されているが、これらは平成三年以前に発生したものである。平成四年に現行の基準額を決めA 会員数による賦課方式となつて個人から各医連の責任額となり未収は減った。しかし、徴収額と納入額の差の解消が、各県の負担となり活動を制約している。

強制加入となつていないので理解してほしい。と答弁した。大阪府医連等から入会者数と負担基準数の差について検討を求める意見があり、日医連執行部としても検討することとした。負担基準額二万円については決定した。

議員活動報告より

財政主導には異議 宮崎秀樹参議院議員

医療構造改革は、大綱に沿い主旨が通ったと思っただけ、翌日の総務会に出された案は異った案であつたため、総務会は猛反発して差し戻した。

党議にかけない案を厚生労働省、財務省が意図的に流す傾向があり、抗議した。医療関係者の意見を全く聞かないで法案化する手法には関係の調査会、委員会で強く反発し、筋の通つた改革にするよう参議院で詰めた。

参議院外務委員長に就任

党務は医療政策へ

武見敬三参議院議員

再選後、アフガン問題が発生し、外務防衛委員会委員長を受けることになった。医療を離れないように党の医療制度改革協議会の副会長をやらせて頂いている。

改革構想は新たな手法で出てきたが、構想が経済財政諮問会議の方針がトップダウンできている。ボトムアップとトップダウンの違いが明確になっている。

現場の声を大切にし、日医連と相互援助を大切にしたい。構造改革に取り組む

平成12年度日本医師連盟収支決算の内訳

収 入		
科 目	金 額	内 訳
負 担 金	1,522,620,000 ^円	当年度15億683万円 過年度1,579万円
特 別 会 費	512,545,000	13年春に1人1万円で要請
寄 付 金	5,000,000	愛知県医連から
そ の 他 収 入	50,514	利息その他雑入
繰 越 金	137,247,336	11年度から繰越
合 計	2,177,462,850	
支 出		
科 目	金 額	内 訳
1 経 常 経 費	80,946,981 ^円	
人 件 費	33,006,060	連盟事務局職員及び臨時職員費
光 熱 水 費	756,000	日医会館内の分担費
備品・消耗品費	4,658,207	ビデオ、ニュース145万円、パソコン42万円他
事 務 所 費	42,526,714	日医連ニュース8回3,762万円、配布資料・電話ファックス代等
2 政 治 活 動 費	1,675,023,701	
1) 組 織 活 動 費	220,188,468	
組 織 対 策 費	89,527,720	会議費5,700万円、旅費・交通費3,200万円等
交 際 費	109,360,865	政党関係パーティ券等
渉 外 費	5,558,592	懇談会費
行 事 費	15,741,291	連盟懇談会3回、宮崎議員繰上げ当選祝賀会
2) 選 挙 関 係 費	2,434,640	陣中見舞 電話代
3) 調 査 研 究 費	1,923,593	資料170万円、政党資料費
4) 寄 付 交 付 金	1,450,477,000	政治団体寄付及び県医連への交付金
寄 附 金	961,500,000	衆院選3億6,900万円、各政治団体5億9,250万円
交 付 金	488,977,000	党员獲得交付3億2,500万円、各首長選挙費
合 計	1,755,970,682	
収支差額421,492,168円		